




# 名駅南地区 まちづくりマスタープラン

～ 名駅南地区まちづくり研究会からの提案 ～

平成24年3月

名駅南地区まちづくり研究会



## はじめに

名駅南地区まちづくり研究会では、平成22年度から名駅南地区(約20ha)を対象に、現在、様々な開発計画が進められている「名古屋駅前地区」「ささしまライブ24地区」との一体的な国際競争力の強化をめざして、当地区におけるより魅力的で快適なまちづくりの実現と積極的な土地の有効活用が行える環境づくりを目的に調査・研究活動を行ってきました。

この度、2年間の検討成果として、当研究会から名駅南地区の住民・企業の皆さんに、将来に向けたまちづくりを提案するものとして「名駅南地区まちづくりマスタープラン」を取りまとめました。今回作成したマスタープランが、今後、名駅南地区のまちづくりを議論していく上で、1つの契機となればと考えております。

当研究会では、今後とも名駅南地区の住民・企業の皆さんからのご意見をお伺いしながら、当地区がより多くの人に愛され、魅力にあふれたまちになることをめざして努力してまいりたいと考えておりますので、皆さんのご協力とご支援をよろしくお願い致します。

平成24年3月

名駅南地区まちづくり研究会

### 名駅南地区まちづくりマスタープラン

～ 名駅南地区まちづくり研究会からの提案 ～

1. マスタープランの目的と役割	1
2. 名駅南地区の位置づけ	1
3. まちづくりの目標	5
4. 土地利用の方針	6
5. ネットワーク形成の方針	9
6. ソフトなまちづくりの方策	12
7. 今後のまちづくりに向けて	13
◆ 名駅南地区まちづくり研究会の活動経緯	14

## 1. マスタープランの目的と役割

名古屋駅周辺では、15年後(2027年)のリニア中央新幹線の東京～名古屋間の開業を見据えてターミナル機能の強化が進められるとともに、先端技術産業等の成長産業企業や都市の創造性を高める大学・研究機関等の集積が期待されています。

そのため、名駅南地区においても、地区内の住民・企業が協力して、2027年に向けたまちづくりに取り組むことが必要になっています。

今回、研究会で作成した「まちづくりマスタープラン」は、名駅南地区全体のまちづくりの方向性を地区の皆さんと一緒に考える際のタタキ台として作成したものです。今後とも、皆さんのご意見をお伺いしながら、マスタープランの内容をより充実させ、皆さんと共有できる「まちの将来像」として育てていきたいと考えています。

## 2. 名駅南地区の位置づけ

### (1) 対象地区

所在地：名古屋市中村区名駅南2丁目及び3丁目・4丁目の一部

(山王線、三蔵通、江川線、都市高速道路万場線に囲まれた範囲)

面積：約20ha

用途地域：商業地域(80/600, 80/500, 80/400)、防火地域、準防火地域



## (2) まちづくりの必要性

### ① まちの歴史

名駅南地区は、昭和12年の国鉄名古屋駅の開業と貨物専用の笹島駅の設置により、流通業務地区としての土地利用が進んできたが、昭和61年の笹島駅の廃止とともに、周辺や地区内でも土地利用転換の動きが見られるようになっていきます。また戦災復興区画整理事業開始以降60年以上が経過し、更新時期を迎えている建物も多く、地区として土地利用転換が必要な時期を迎えています。

	年	名古屋駅周辺、名駅南地区の出来事
明治	19	・名古屋停車場(初代名古屋駅)及び貨物専用駅の設置(現名古屋駅の400m南)
昭和	7	・中川運河全通
	12	・国鉄名古屋駅営業開始。現在の名古屋駅に移転し、笹島駅は貨物専用駅となる。名駅南地区は流通業務地区としての土地利用がなされるようになる。
	20	・戦災により家屋など焼失
	22	・戦災復興土地区画整理事業、仮換地測量開始(昭和56年、換地処分完了)
	32	・日本通運ビル(昭和32年)、日本トランスシティ(昭和42年)をはじめとする現在ある流通関連の建物がビルドアップ
	61	・笹島貨物駅の廃止
平成	11	・「ささしまライブ24地区土地区画整理事業」の事業認可(~平成21年)
	13	・オンワード樫山(平成13年)や専門学校(平成14年)等が立地し、新たな土地利用転換の動き

### ② 土地環境

名駅南地区を含む名古屋都心部は、中部国際空港とのアクセスも便利で、かつ日本の地理的中央に位置しているため新幹線や高速道路など国土幹線交通の拠点として、広域交通ネットワークが非常に充実しています。また周辺にある自動車関連産業をはじめとしたものづくり都市とのアクセスもよく、ビジネスや商業機能が集積する拠点となっています。さらに、文化的要素も豊富で、海外へのブランド力も高まりつつあります。今後のまちづくりを進めるにあたっては、このような広域的特長を取り入れたまちづくりが求められています。

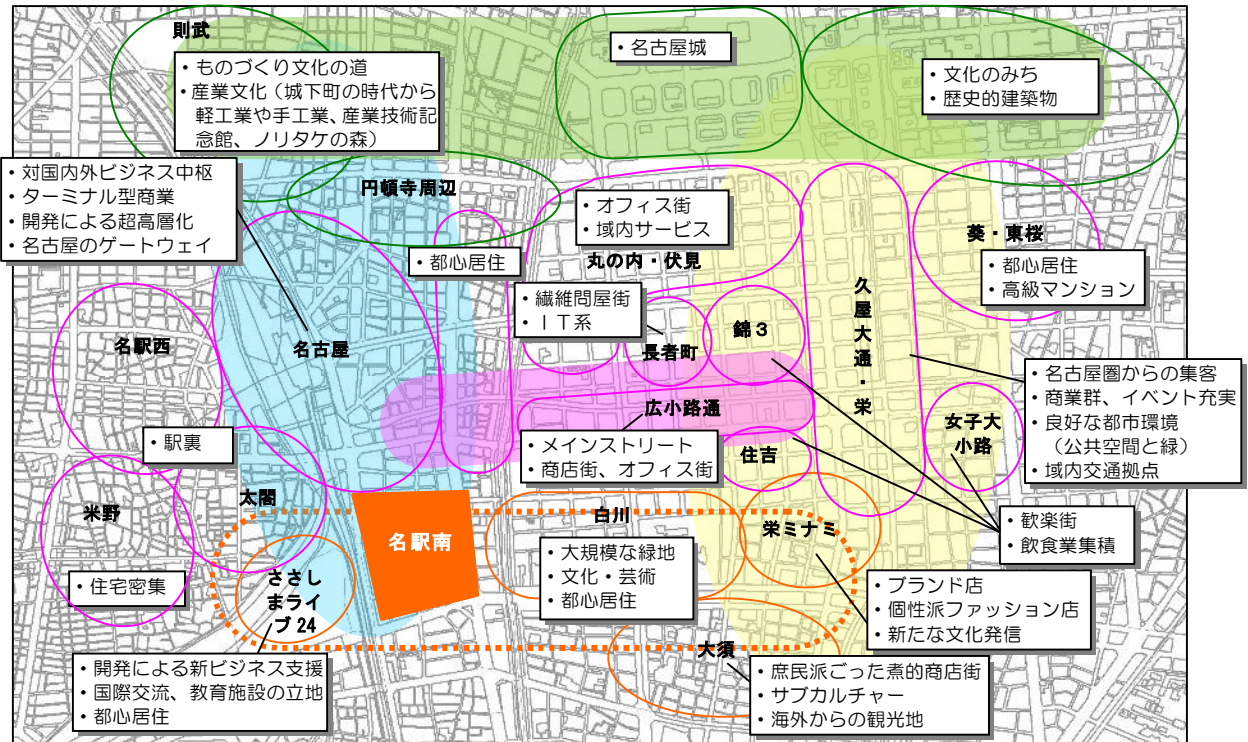
### ③ 今後のまちづくり

名駅南地区に隣接する名古屋駅前では再開発による高層化が進み、またささしまライブ24地区でも整備が進められ、開発により地区のポテンシャルが向上しつつあります。一方、名駅南地区においては、高度な土地利用や建物更新が進まない、魅力的な施設や緑・文化的要素に乏しい、安心・安全など様々な課題を抱えています。このような課題解決に向けては、高まりつつある周辺のポテンシャルを活かしたまちづくりを進めていくことが求められています。

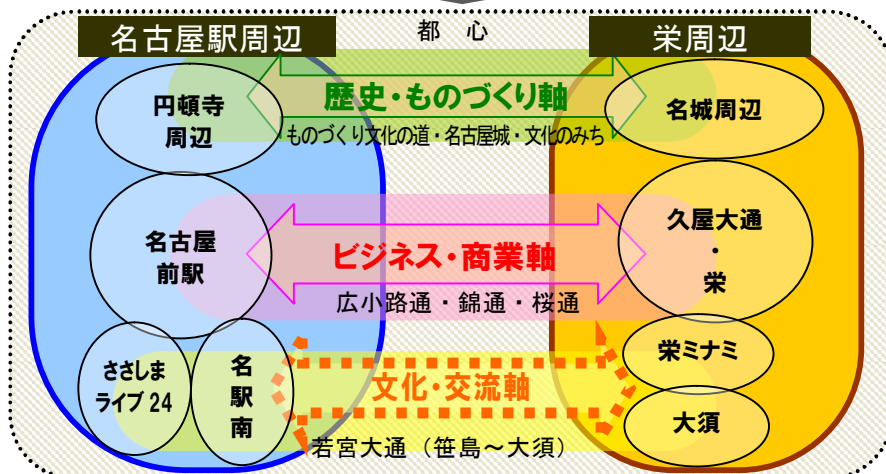
### (3) 名古屋都心、名古屋駅周辺から見た位置づけ

名古屋都心は、様々な特性を持った地区が相互に役割を分担し連携をしています。名駅南地区は、名古屋駅と栄の都心をつなぐ3つの骨格軸の1つである「文化・交流軸」を強化していくための一翼を担っています。

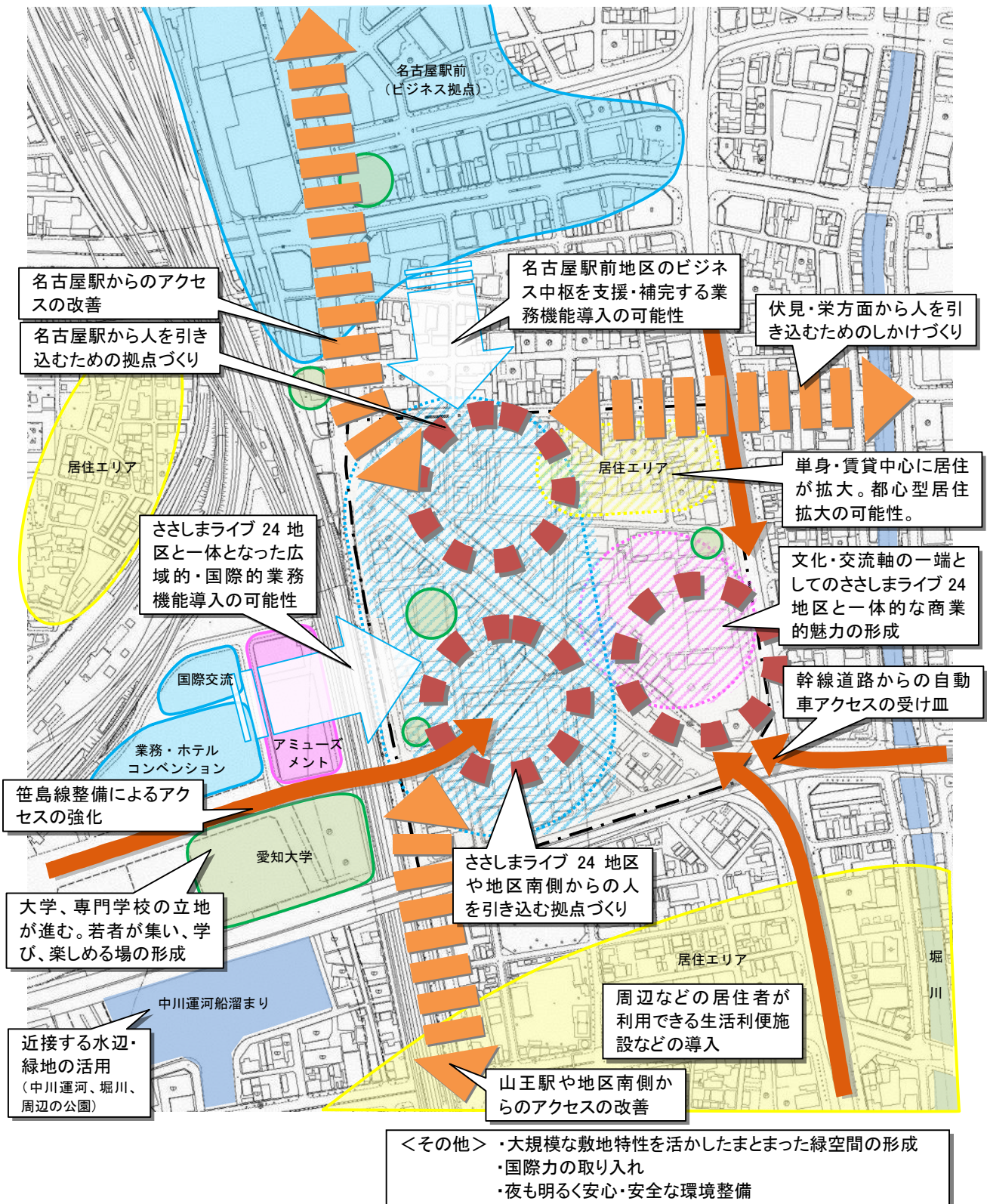
また名古屋駅周辺においても、地区内の様々な特性を活かし、魅力的な複数拠点からなる多極的ネットワークと多機能型のまちの形成が期待される中で、名駅南地区は、その1つの拠点を形成し、周辺地区と連携、補完する役割を担っていくことが期待されています。



①主構造	「世界都市名古屋にふさわしい活ある複合都心」名古屋駅周辺地区と「魅力ある豊かな空間に人々が集い栄える交流都心」が中心核となり、広小路通・錦通などを中心に <b>ビジネス・商業軸を形成し、『2核1軸』の構造となっている。</b>
②北側	名城・円頓寺・則武など歴史やものづくりなどの要素が連続しており、外堀通・円頓寺商店街などを中心に <b>歴史・ものづくり軸を形成している。</b>
③南側	「若者の集う栄ミナミ」「庶民的で国際色豊かな大須」「文化・芸術性の高い白川」「国際交流都市ささしまライブ 24」など、若宮大通などを中心に <b>文化・交流軸が形成されつつある。</b>



#### (4) 名駅南地区のまちづくりの課題



#### <凡例>

交通ネットワーク の課題	自動車	
	歩行者	
	拠点づくり	

都市機能の課題	業務系	商業系
	居住系	教育施設

### 3. まちづくりの目標

## 名駅南地区まちづくりマスタープラン

ひと・まち・暮らしをつなぐ交流タウンをめざして  
**2027**

#### ◆ 楽しみ求めて人が訪れ、交流によりにぎわいが生まれるまちづくり

名古屋駅周辺と栄周辺の南側を結ぶ文化・交流軸の一端として、ささしまライブ 24 地区と一体となって、名古屋駅前地区などの周辺地区から、学生、ビジネスマン、OL、若者から高齢者まで、多くの人々が集う、アートなど文化も感じられる新たなにぎわい空間の形成をめざします。

名古屋駅からの歩行者や周辺幹線道路からの自動車のアクセスを充実させ、人が気軽に訪れられる交通環境づくりを進めましょう。



バンクーパー

#### ◆ 学び・働きにより、創造性を育て、世界で夢が実現できるまちづくり

既存ビジネスの活性化や新たな産業誘致など、広域性・国際性のある業務機能、専門学校などの文化・教養の場、働く人・学ぶ人を支える商業機能などを導入し、働きやすく、学びやすいまちの実現をめざします。

大規模な敷地特性を活かし、オープンスペースや緑などが充実した過ごしやすい都市空間の形成に努めましょう。



マンハッタン

#### ◆ 便利で安心・安全な暮らしを届け、未来まで人にやさしいまちづくり

安心・安全で水と緑がある健全で人に優しい環境づくりを進めるとともに、都心という便利な立地特性を生かし、子どもから高齢者、単身者からファミリー層まで多様なライフスタイルが可能な居住地の形成をめざします。

周辺に広がる居住地を含め、地区内外の人々が快適に暮らせるための医療や福祉、生活利便施設など多様なサービス機能を導入するなど、広く地域の暮らしを向上させるまちづくりを進めましょう。



桜並木

## 4. 土地利用の方針

土地利用の転換が見込まれる土地の土地利用方針として、「軸」、「ゾーン」を設定し、まちづくりの目標の実現をめざします。

### (1) 軸

名古屋都心や名古屋駅周辺全体の一体的な発展と人々の交流や回遊性を促進するため、地区内外を連携する路線を「軸」として位置づけ、まちづくりの重要な線的基盤として都市機能の強化や交通環境の改善をめざします。

#### ① 連携軸

名古屋駅周辺と栄周辺の都心東西を結節し、文化・交流軸として広域的な回遊性の向上をめざします。

##### ●名駅通～広井町線

名古屋駅前地区と名駅南地区を結ぶメインアクセス道路としての「快適でスムーズな歩行者動線の形成」と「名古屋駅とのアクセスの重点的な強化」



名駅通

##### ●笹島線～若宮大通

ささしまライブ 24 地区と栄ミナミ・大須地区をつなぐ幹線道路としての「交通ネットワークを強化」と「人の回遊性を創出するための商業施設や緑によるゆったりと歩ける通りの形成」



三蔵通

##### ●三蔵通

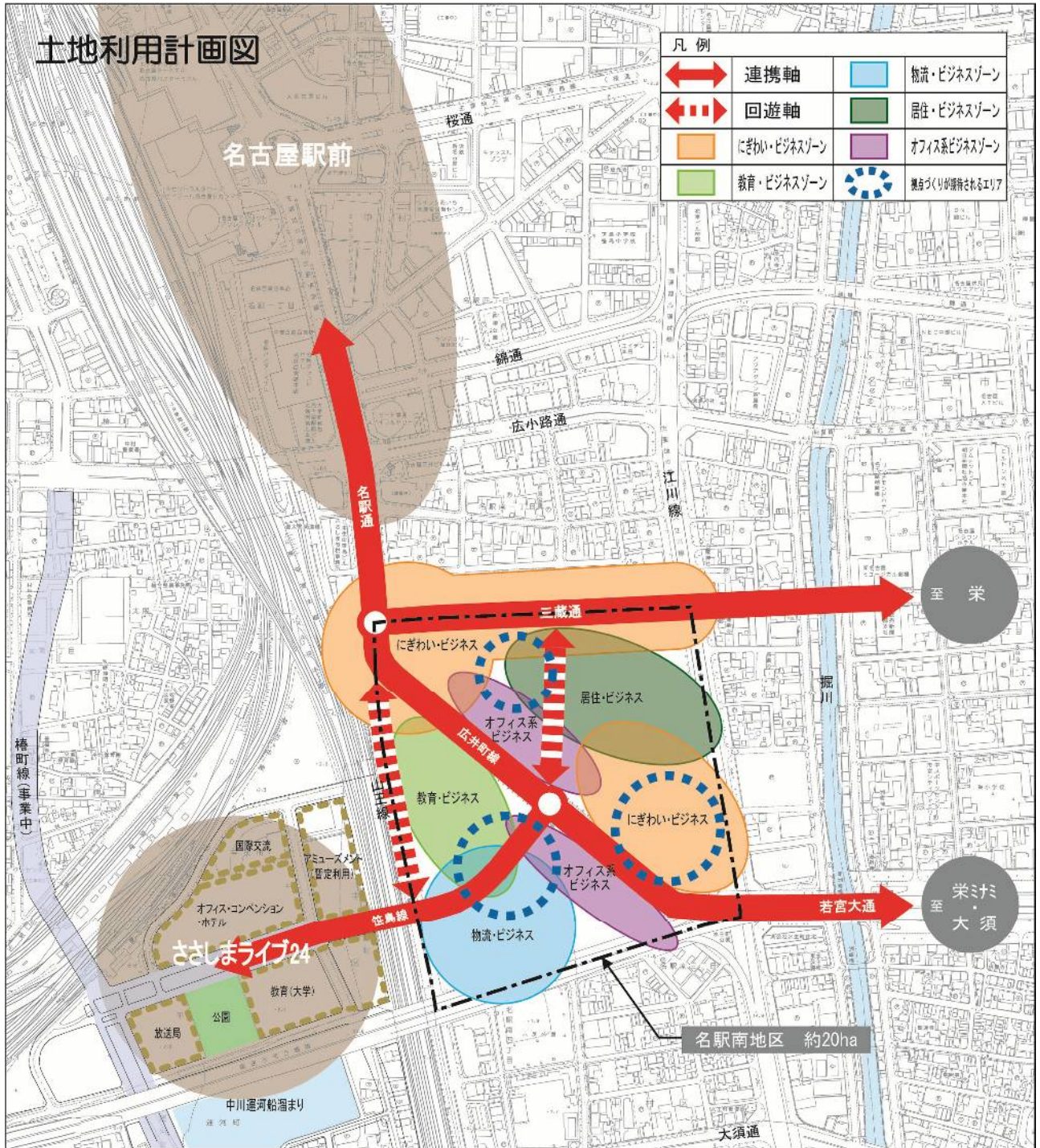
栄地区につながる人中心の路線としての「商業的にぎわいがあり、安心・安全な通りの形成」

#### ② 回遊軸

地区内における回遊性を向上させるため、安心・安全、快適に歩ける歩行者動線の形成をめざします。



<土地利用計画図>



## (2) ゾーン

既存の土地利用や周辺地区との関係性を踏まえて、以下の「ゾーン」を設定し、将来の土地利用の方向性を提案します。

### ① にぎわい・ビジネスゾーン

業務系のビジネス利用とともに、低層部等を店舗化するなど、にぎわい形成に繋がる利用

### ② 教育・ビジネスゾーン

業務系、物流系のビジネス利用とともに、若者層を引き込むため教育施設等の利用

### ③ 物流・ビジネスゾーン

既存の土地利用を継承した業務系、物流系のビジネス利用

### ④ 居住・ビジネスゾーン

既存の土地利用を継承した多様なライフスタイルに対応した都心型の居住利用やビジネス利用

### ⑤ オフィス系ビジネスゾーン

名古屋駅前地区との近接性をいかした広域性や国際性のあるオフィス系のビジネス利用



丸の内仲通り



パークハウス多摩川

## (3) 拠点づくりが期待されるエリア

土地利用の転換にあわせて、まちづくりの呼び水となる集客性の高い施設やまちの魅力づくりに繋がる複合的な都市機能を積極的に導入し、周辺地区から人を呼び込むための拠点づくりをめざします。

東雲キャナルコート



恵比寿ガーデンプレイス

なんばパークス



## 5. ネットワーク形成の方針

### (1) 歩行者ネットワーク

#### ① 歩行者ネットワークによる回遊性の創出

名古屋駅前、ささしまライブ 24、栄、大須などの周辺地区、また地区内のスムーズな歩行回遊性を創出するために、ゆとりがあり快適で安心・安全な歩行者空間(主要歩行者ネットワーク)の形成をめざします。

主要歩行者ネットワーク路線においては、自転車の円滑な通行環境づくりを推進するとともに、大規模敷地の開発では、歩道と一体利用できる歩行者用通路や通り抜け通路を設けるなど、地区のより快適な歩行者動線の形成に努めましょう。



表参道



大崎駅西口:歩行者用通路

#### ② 名古屋駅とのアクセスの強化

主要歩行者ネットワークの中でも名古屋駅とのアクセスは特に重要であるため、名駅通沿いの再開発等とも連携を図りながら、地下公共空間や歩道の整備により名古屋駅との歩行者動線の強化をめざします。



札幌:地下公共空間

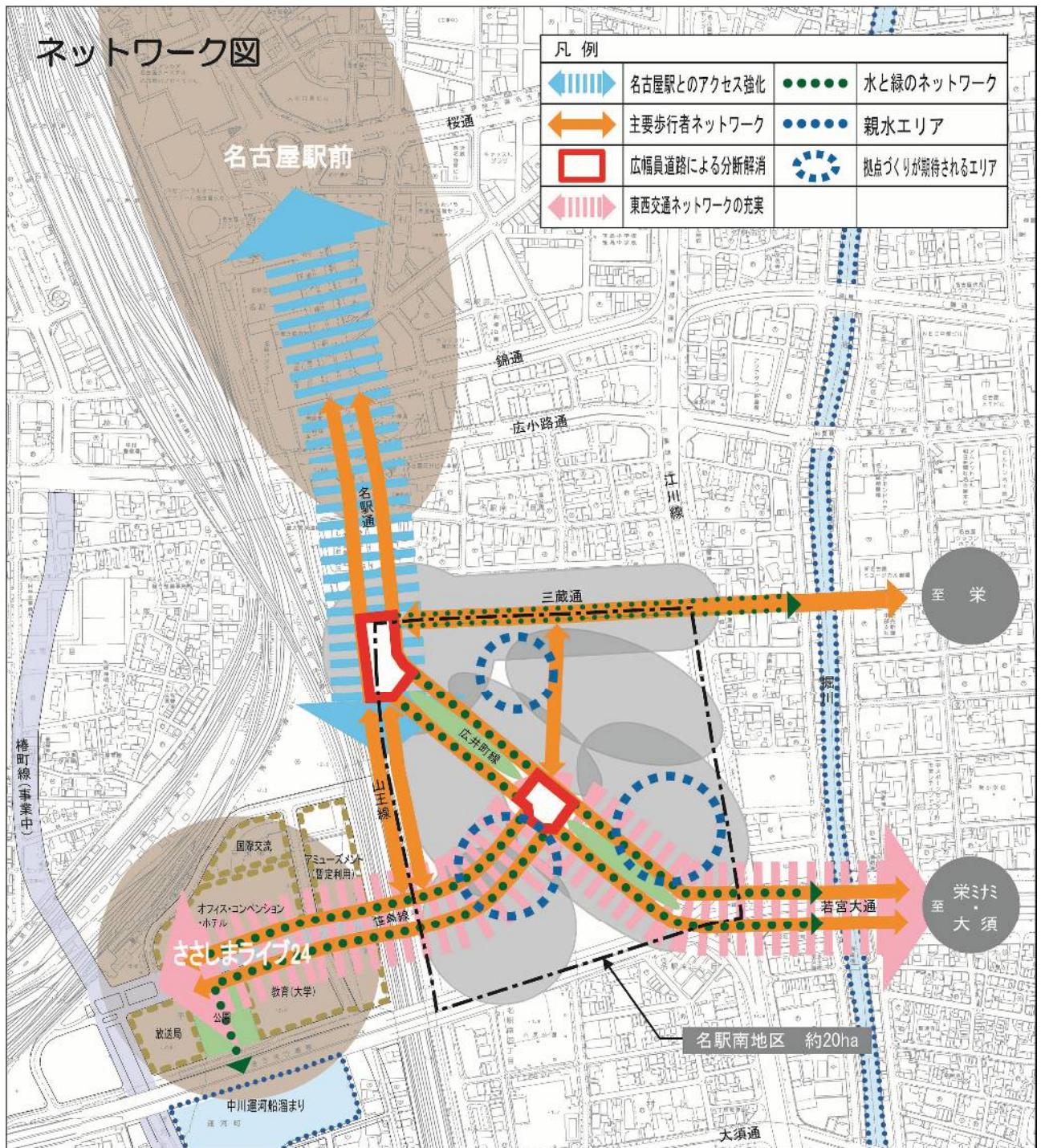
#### ③ 広幅員道路による分断の解消

下広井町交差点などの主要交差点の横断は、連続的な歩行者動線の分断要素になっています。その解消を図るため、自動車交通量の抑制により横断歩道の設置をめざすと同時に、立体横断施設(地下公共空間など)と周辺ビルとの接続を促すことで、建物と一体となった立体的な歩行者ネットワークの形成をめざします。



渋谷駅前

<ネットワーク図>



## (2) 交通ネットワーク

### ① 東西交通ネットワークの充実

都市計画道路笹島線の整備を推進することで、広井町線、若宮大通を通じて、ささしまライブ 24 地区と栄ミナミ・大須地区を結ぶ東西交通ネットワークの充実をめざします。



広井町線

### ② 名古屋駅方面への自動車交通の流入抑制

広域交通は、江川線、大須通などの外郭環状道路への誘導を促すとともに、名古屋駅前の駐車需要に対応するフリンジパーキングを設けるなど、名古屋駅方面への自動車交通の流入抑制を推進しましょう。

### ③ 歩行者を支援する新たな公共交通手段の導入

行政や周辺地区とも協力しながら、栄ミナミ・大須～ささしまライブ 24～名古屋駅(新幹線口)を結ぶバス路線、名古屋駅周辺や都心部を巡る小型循環バス、自転車を使った新しい公共交通システム(コミュニティサイクル)など、当地区と周辺地区を繋ぐ新たな公共交通手段の導入を推進しましょう。



コミュニティサイクル

## (3) 水と緑のネットワーク

### ① 水と緑のネットワークの形成

主要歩行者ネットワーク路線を中心に、街路樹などに加え、敷地内の緑や建物の壁面緑化等で公園の緑とも繋げていくことで、公共空間と民有空間が連携しながら、緑を楽しむ環境づくりをめざします。



大崎駅西口

堀川や中川運河船留まりは、この地区の貴重な水辺であるため、魅力的な親水空間の整備とあわせて、緑のネットワークをそれら水辺まで繋げていくことが期待されています。



堀川

## 6. ソフトなまちづくりの方策

### (1) まちの景観形成

#### ① にぎわいと緑のある景観の形成

主要歩行者ネットワーク路線では、低層部の物販や飲食などの店舗化に努めるとともに、ファサードの工夫やショーウィンドの設置など、にぎわいを感じられる景観づくりを進めましょう。



オープンカフェ

#### ② 地区の顔となるランドマーク景観の形成

幹線道路が交わる主要交差点は、地区のイメージを形成する上で大変重要な場所になります。建物の高度利用や特徴的な意匠、広場・緑の創出等により地区のランドマークとなる景観づくりが期待されています。



御堂筋

#### ③ 調和のとれた景観の形成

名駅通沿いでは、名古屋駅前から連続する良好な景観を形成するため、建物の高さや壁面位置、屋外広告物のデザインに配慮するなど、調和のとれた景観づくりに努めましょう。

### (2) 安全・安心なまちづくり

沿道の建物は、災害時の避難や安全性に配慮するとともに、地域住民や企業が協力して防犯や清掃、駐輪対策等に取り組むなど、安全・安心で快適に過ごせるまちの実現をめざします。



清掃活動

### (3) まちの魅力の情報発信

WEBや紙面等を活用し、まちの魅力やまちづくりの取り組み等を対外的にPRしていくなど、積極的なまちの情報発信に努めましょう。

## 7. 今後のまちづくりに向けて

### (1) まちづくりのルール化

地区全体の将来像と整合を図りながら、個々の開発や整備を円滑に進めていくには、まちづくりのルールが必要です。特に景観、環境、安全・安心面では、地区内の関係者を中心にガイドラインづくりに取り組み、持続的にまちの付加価値を高めていくことが期待されています。

### (2) 多様な整備手法の活用

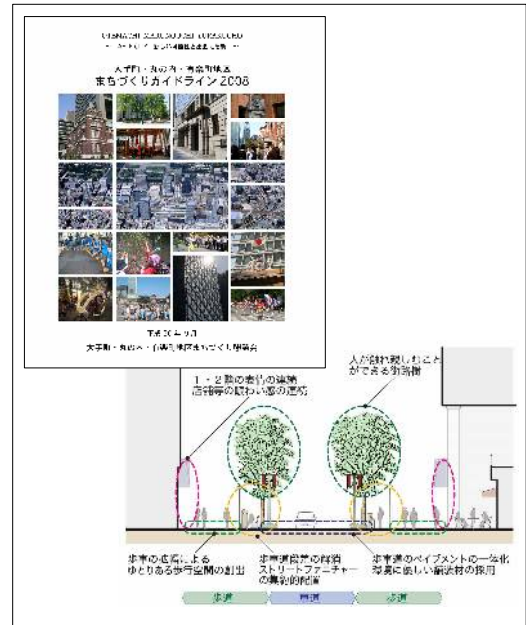
土地の有効活用や共同化等の一体的な開発を進めていく方法として、再開発や土地区画整理などの様々な事業手法があります。また総合設計制度や地区計画等の規制緩和の手法を活用することで、必要な都市機能の導入や土地利用の高度化を進めると同時に、オープンスペースなどの公的空間を積極的に創出していくことが可能になります。

### (3) 名古屋市や周辺地区との協力・連携

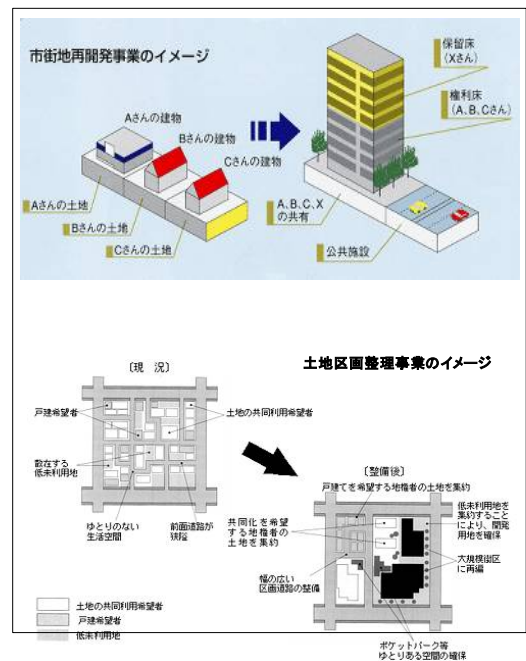
公共施設整備との連携や規制緩和等の民間支援の活用を円滑に進めていくためには、市との協力関係を強化していくとともに、名古屋駅前地区、ささしまライブ 24 地区のまちづくり協議会とも協力・連携しながら、まちづくりを進めていく必要があります。

### (4) まちづくり協議会等の設立

公民が互いに協力しながらまちづくりを実現していくためには、民間の地権者等が主体となって組織運営するまちづくり協議会等を設立するなど、地区全体を総合的に捉えながら、地域が主体的に、かつ円滑にまちづくりを推進していくことが必要です。



大手町・丸の内・有楽町地区まちづくりガイドライン



市街地再開発事業・土地区画整理事業のイメージ

## ◆ 名駅南地区まちづくり研究会の活動経緯

### 【平成22年度】

- 平成22年9月28日 研究会（準備会） 14：30～16：30 名古屋鉄道本社 会議室
- ・名駅南地区まちづくり研究会の進め方について
  - ・ささしまライブ24地区の事業進捗について（ささしまライブ24総合整備事務所）
  - ・講話「名駅南地区のポテンシャルと導入機能について」（都市研究所スパーシア）
- 平成22年9月29日 コンサルタント活用助成 助成申請書の提出
- 平成22年11月2日 研究会（第1回） 14：00～16：00 三喜ビル4階会議室
- ・地区の現状の再確認と周辺の動向
  - ・呼び水となる機能の抽出
  - ・将来像のイメージ素案
- 平成22年12月28日 コンサルタント活用助成 事業実績中間報告書の提出
- 平成23年1月18日 研究会（第2回） 14：00～16：30 三喜ビル4階会議室
- ・名駅南地区まちづくりマスタープラン（案）
  - ・名古屋駅周辺公共空間整備について
- 平成24年1月19日 「名駅南地区まちづくり研究会 お知らせ No.1」の発行
- 平成23年3月10日 研究会（第3回） 15：00～16：30 三喜ビル4階会議室
- ・名駅南地区まちづくりマスタープラン（案）
  - ・名駅南地区まちづくり研究会 平成23年度事業計画（案）
  - ・総合特区制度
  - ・名駅南地区まちづくり研究会 お知らせ（案）
- 平成23年3月11日 「名駅南地区まちづくり研究会 お知らせ No.2」の発行
- 平成23年3月18日 コンサルタント活用助成 事業実績報告書の提出

### 【平成23年度】

- 平成23年5月12日 研究会（第4回） 15：00～17：00 三喜ビル4階会議室
- ・名駅南地区まちづくり研究会の進め方
  - ・まちづくりマスタープラン事例研究
  - ・グローバルゲートの概要（豊田通商(株)）
- 平成23年8月3日 研究会（講演会） 15：00～17：00 名古屋鉄道本社 会議室
- ・講演会「都市をブランディングする戦略」（伊藤孝紀 名古屋工業大学大学院准教授）
  - ・名駅南地区への進出企業ヒアリング結果について
  - ・地下通路について
- 平成23年8月25日 研究会（第5回） 14：30～16：30 三喜ビル4階会議室
- ・大学誘致検討のためのアンケート調査について
  - ・地下通路整備に対する意見・要望について
  - ・愛知大学の概要について（愛知大学）
- 平成23年9月27日 名駅南地下通路に関する意見・要望について（住宅都市局長に要望書を提出）
- 平成23年10月14日 研究会（説明会） 10：00～11：45 名古屋鉄道本社 会議室
- ・地下通路整備の概要について
- 平成23年10月25日 地域まちづくりコンサルタント活用助成 申請書の提出
- 平成23年11月16日 研究会（第6回） 14：30～16：40 三喜ビル4階会議室
- ・特定都市再生緊急整備地域の指定等について
  - ・まちづくりマスタープランについて
  - ・地域まちづくりコンサルタント活用助成について
- 平成24年1月18日 地域まちづくりコンサルタント活用助成 事業中間報告書の提出
- 平成24年2月7日 研究会（第7回） 15：00～17：30 三喜ビル4階会議室
- ・まちづくりマスタープランについて
  - ・名古屋駅周辺への大学誘致に関するアンケート調査結果について
  - ・地区計画等を活用した事業手法の検討
  - ・まちづくりに関するソフトな取組の検討
- 平成24年2月27日 「名駅南地区まちづくり研究会 お知らせ No.3」の発行
- 平成24年3月 地域まちづくりコンサルタント活用助成 事業実績報告書の提出



## 名駅南地区まちづくり研究会

事務局支援業務委託先

(連絡先) 独立行政法人都市再生機構 中部支社

市街地整備チーム

電話：052-968-3236